

教職実践演習に向けた取り組み:札幌校の事例

北海道教育大学札幌校カリキュラム委員会

教職実践演習は今年度入学生が最初の対象となり、教職実践演習を行うまでの3年半の間に各科目、特に教育実践フィールド科目および専攻科目を中心にした十分なデータの積み重ねが必要である。今回のフォーラムでは、現在1年生全員あるいは多くが履修している科目である①教職論、②基礎実習、③教育フィールド研究Ⅰを中心に、それらの取り組みに関して報告を行った。

札幌校では、教職実践演習に向けてカリキュラム委員会（教職論・基礎実習小委員会、教育フィールド研究小委員会）、教職実践演習全学運営委員会、地域活動委員会、教職スーパーバイザーらによる教職論、基礎実習、教育フィールド研究に関する全体的な指導を行い、個々の学生の指導に関しては専攻・グループのアカデミックアドバイザーおよび担任団が担っている。

- ① 教職論は教職の意義、教員の職務、学校と教職に対する社会の期待などについて学ぶ科目である。教職スーパーバイザーや基礎実習アドバイザーによる事前指導、学内外の講師による講演とそれに関するグループ別討論、レポート提出の他、基礎実習とも連動しており、基礎実習の事前事後指導も行っている。レポートは紙媒体での提出の他に、電子ポートフォリオへのアップロードも行わせており、7月30日にグループごとの振り返りを行った後、チェックリスト項目の自己評価、コメント入力を行わせた。チェックリスト項目の入力率は約70%（273名中182名が入力）であり、チェックリストの自己評価の集計から、約9割が「十分できた」、「できた」と評価している。自己評価と成績に間に相関は見られず、自己評価が非常に高い学生で成績評価がF*であるケース、厳しい自己評価にはあるが成績評価はAであるケースなどが見られた。
- ② 基礎実習は教育の実践現場を早期に体験し、教員を目指すものとして自覚、目的意識を育てることを目的にしており、附属小中学校での授業観察、近隣の小中学校、特別支援学校での学校見学（養護教育専攻の場合は、附属小中学校での健康診断補助を含む）を行っている。通年実施のため成績評価、自己評価はまだ行われていないが、これまでに、事後指導、振り返りを行い、レポート（基礎実習を終えて）を電子ポートフォリオにアップロードするように指導している。
- ③ 教育フィールド研究Ⅰでは、札幌市内の小・中・高等学校、特別支援学校で50時間以上の教育支援活動を課すとともに、事前指導、情報交換会、発表会など5回の一斉指導を行っている。情報交換会、中間発表会では中間段階での振り返りを行い、紙にチェックリスト項目の自己評価、コメントを書いて提出してもらっている。年度末に予定されている最終発表会で最終的な振り返りを行い、最終レポートの提出、電子ポートフォリオへのアップロード、チェックリスト項目の最終的な自己評価、コメントを入力してもらう予定である。学生からチェックリストに関して寄せられた意見の中には、「目標を見直すことで自分の課題が見えてきた」、「記入してみ、自分の現在の課題は積極性が足りないところだと感じた」などが見られた。

今後2年生以降、教育フィールド研究、教育実習、専攻科目などでチェックリスト項目の自己評価、レポート等のアップロードによりデータを蓄積していき、4年後期の教職実践演習へとつなげていきたい。それらと並行して、教職実践演習の意義、電子ポートフォリオの活用などの周知徹底や、チェックリスト項目入力率の向上、教職実践演習の具体的内容と指導体制の構築などに力を注ぐ必要がある。

教職実践演習に向けた取り組み ～札幌校の事例～

北海道教育大学
札幌校カリキュラム委員会

運営体制(予定を含む)

- 全体的な指導: 各種委員会
 - － カリキュラム委員会: 教職論・基礎実習小委員会, 教育フィールド研究小委員会
 - － 教職実践演習全学運営委員会
 - － 地域活動委員会(教育フィールド研究)
 - － 教職スーパーバイザー
- 個々の学生指導: 専攻・グループのアカデミックアドバイザー, 担任団

本年度の取り組み(予定を含む)

	授業科目	前期	後期
1 年	①教職論 (必修)	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末に前期の全体的な振り返りとして一コマを設定し, 専攻・グループ単位で指導 ・②, ③を含めて全体の振り返りをレポート及びチェックシート(電子ポートフォリオ)によって行う 	
	②基礎実習 (必修)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートによるチェック作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートによるチェック作業 ・学期末に一年の全体的な振り返りとして一コマを設定し, 専攻・グループ単位で指導 ・①, ③を含めて全体の振り返りをレポート及びチェックシート(電子ポートフォリオ)によって行う
	③教育フィールド研究Ⅰ (選択)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートによるチェック作業 ・中間段階でのチェックシート(電子ポートフォリオ)の入力確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートによるチェック作業 ・最終レポート, チェックシート(電子ポートフォリオ)の確認

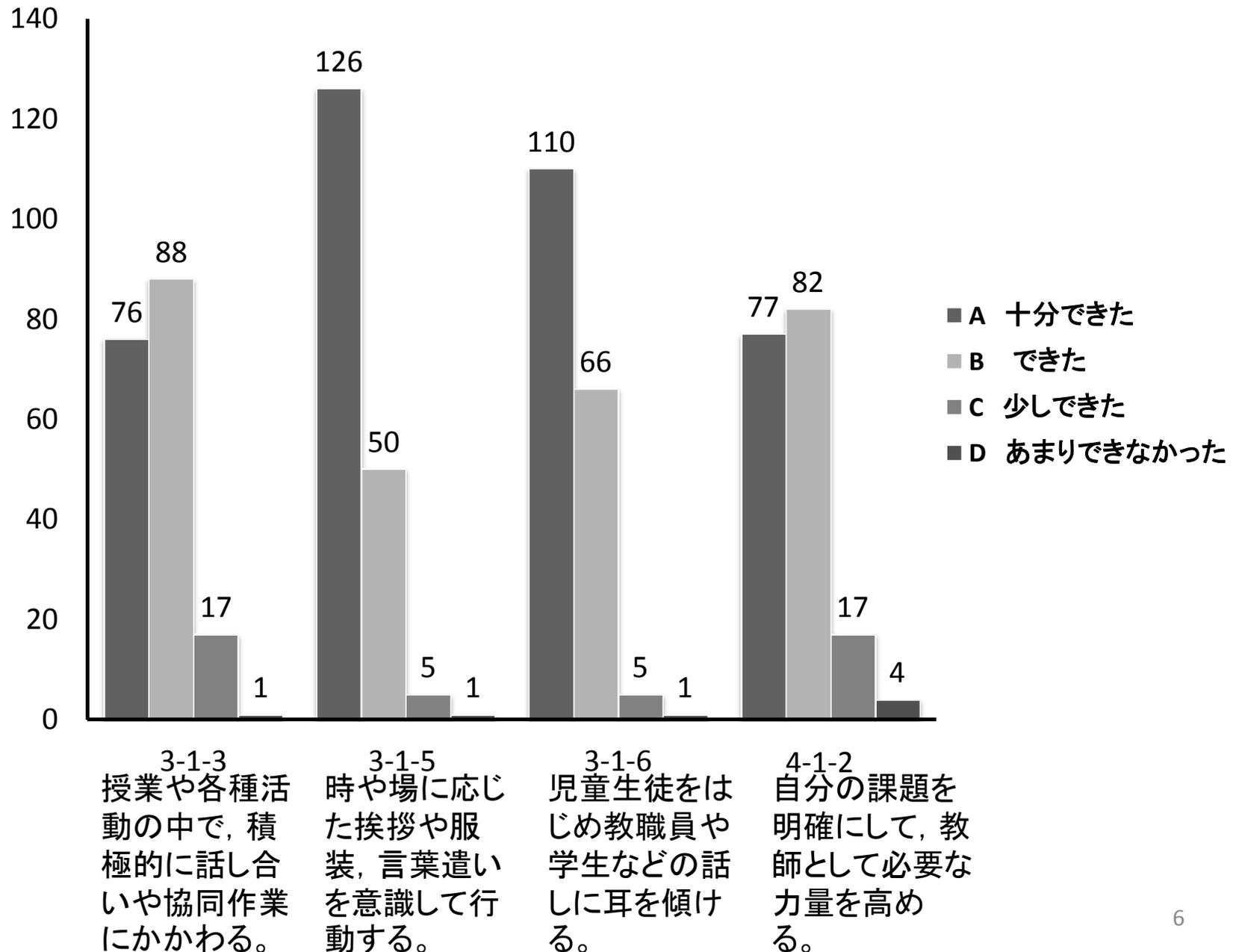
本年度の取り組み ①教職論

- 内容：教職の意義，教員の職務，学校と教職に対する社会の期待などについて学ぶ。基礎実習と連動。
 - － 教職SVによる講演
 - － 基礎実習アドバイザーによる事前指導
 - － 基礎実習の事後指導（担任団）
 - － 学内外の講師による講演（5回）
 - － それに関するグループ別討論（5回），レポート提出
 - － 教職論のまとめ（7月30日）
- 履修年次：1年生 約270名（必修）

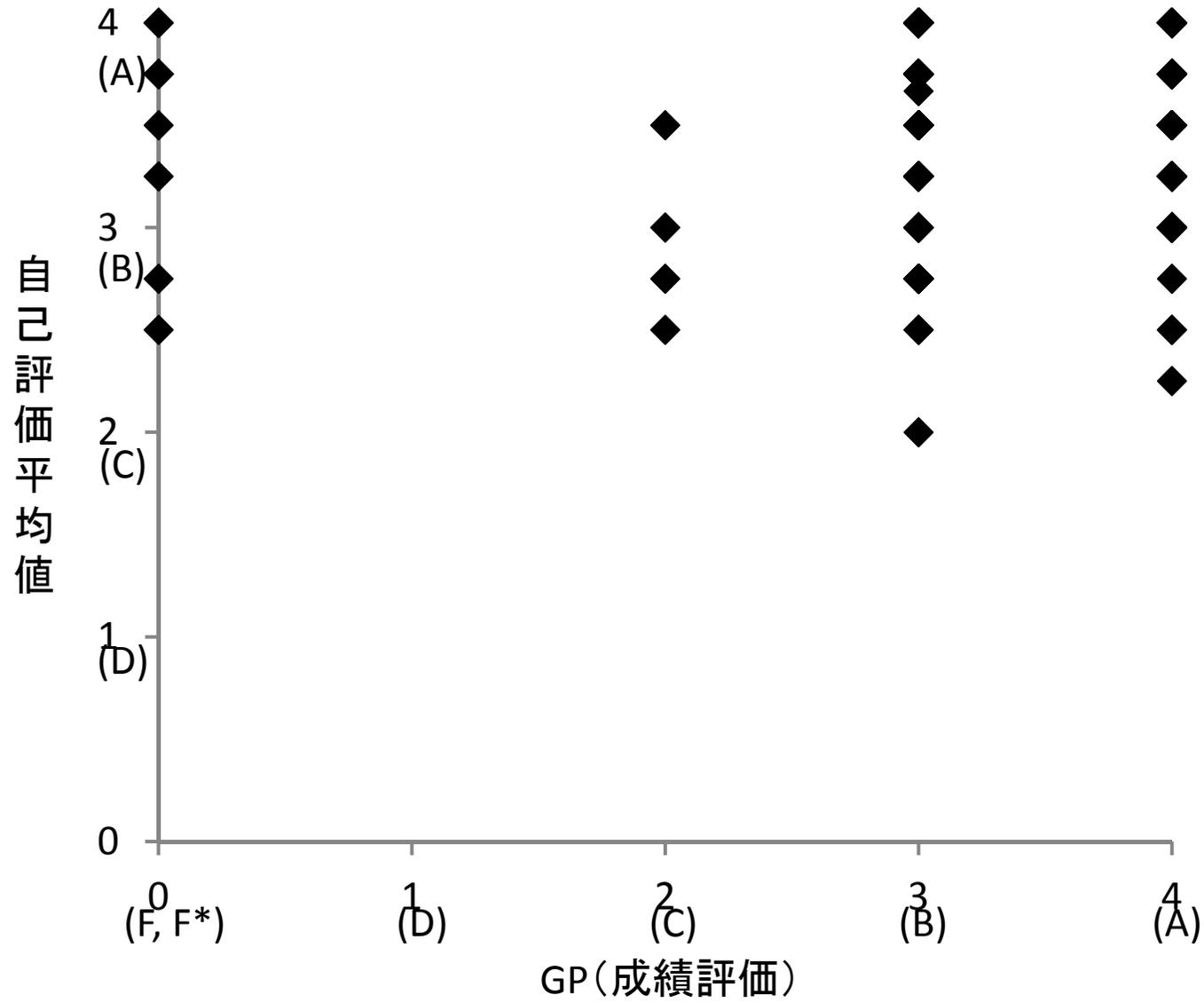
教職論での取り組み

- 基礎実習アドバイザーによる事前指導
 - 教科教育法担当教員による授業観察の方法の講義
- レポート提出
 - 各講義内容を踏まえ、教員の仕事、授業、学校・教師と保護者との関係などについてまとめる。レポートを提出するとともに、**電子ポートフォリオへアップロード**
- 教職論のまとめ
 - 「教育とは何か」「教師の役割とは」「教師の資質とは」などについて、これまでの講義・討論を踏まえて振り返りを行う
 - レポート「教職論を受講して」を**電子ポートフォリオへアップロード**
 - **チェックリスト項目**の自己評価、コメント入力

各チェック項目の自己評価の分布(教職論)



自己評価と成績(教職論)



チェックリストの自己評価とコメント (教職論受講生の一例:成績評価F*)

視点	チェック項目	自己評価	コメント
社会性・対人関係	3-1-3 授業や各種活動の中で, 積極的に話し合いや協同作業にかかわる。	A	積極的に参加できた。また, 仲間と意見を交換し, 共感できる喜びを知った。
社会性・対人関係	3-1-5 時や場に応じた挨拶や服装, 言葉遣いを意識して行動する。	A	基礎実習では <u>教職論の際に学んだ基礎実習に向けての事前指導の内容を生かすことができた。</u>
社会性・対人関係	3-1-6 児童生徒をはじめ教職員や学生などの話しに耳を傾ける	A	毎回の講義の内容をノートにまとめ学習することができた。
教育的愛情・使命感・責任感	4-1-2 自分の課題を明確にして, 教師として必要な力量を高める。	A	<u>自分に今足りないものは何で, 生かしていくべきところはどこなのかわかった。</u> これからも教育について貪欲に学んでいきたい。

自己評価:A:十分できた B:できた C:少しできた D:あまりできなかった 8

チェックリストの自己評価とコメント (教職論受講生の一例：成績評価A)

視点	チェック項目	自己評価	コメント
社会性・対人関係	3-1-3 授業や各種活動の中で、積極的に話し合いや協同作業にかかわる。	C	話し合いに参加し、発言もしたが、 <u>より積極的な態度で臨むべきだった</u> と反省している。
社会性・対人関係	3-1-5 時や場に応じた挨拶や服装，言葉遣いを意識して行動する。	B	友人や先生などの周りの人への感謝の気持ちを持って，状況に応じた言葉遣い，服装を意識しながら，礼儀正しく行動することができた。
社会性・対人関係	3-1-6 児童生徒をはじめ教職員や学生などの話に耳を傾ける	B	話している人が何を伝えたいのか，話のポイントは何なのかということに留意しながら，集中して話を聞くようにした。
教育的愛情・使命感・責任感	4-1-2 自分の課題を明確にして，教師として必要な力量を高める。	D	自分の課題というものを具体化することができず，どのように改善していくべきなのかもしっかりと考えることができなかった。まずは <u>自分の課題は何なのかを，漠然とではなく具体的に考えることから始めていきたい。</u>

本年度の取り組み ②基礎実習

- 内容：教育の実践現場を早期に体験し，教員を目指す者としての自覚，目的意識を育む。
 - － 附属小・中学校での授業観察，質疑・討論
(養護教育専攻：附属小・中学校の健康診断補助)
 - － 近隣の小中学校，特別支援学校の学校見学
 - － 基礎実習のまとめ(10月15日)
- 履修年次：1年生 約270名

附属小中の健康診断補助
(養護教育専攻独自の實習)



基礎実習での取り組み

- 基礎実習のまとめ
 - 「印象に残った授業」「児童・生徒の力を引き出す授業とは」「よい授業とは」などについて、観察した授業を振り返りながら討議する。
 - レポート「基礎実習を終えて」を電子ポートフォリオへアップロード
 - チェックリスト項目の自己評価、コメント入力

基礎実習のまとめ・授業の討議
(基礎学習開発専攻理科グループ)



チェックリストの自己評価とコメント (基礎実習受講生の一例)

視点	チェック項目	自己評価	コメント
学習指導力	1-2-2 参観にあたっては、具体的に次の視点をもって参加する。 ・授業の構成要素や授業全体の流れ ・教師や児童生徒の動き、指導形態……	A	毎回着目する部分を決めて授業を参観できた。着目点だけにとどまらず、広い視点で参観することを心がけた。
児童・生徒の理解	2-1-5 学校の授業参観、教育活動や環境サポートなどに、みずから積極的に参加する。	B	授業参観する以外には、休み時間に子どもたちと遊ぶくらいしかできなかった。挨拶なども、もう少し積極的にするべきであった。
教育的愛情・使命感・責任感	4-1-2 自分の課題を明確にして、教師として必要な力量を高める。	B	現職の先生の授業を見て、教師についてよく考えるようになった。しかし、自分を改善していくまでには至らなかった。

本年度の取り組み ③教育フィールド

- 内容: 札幌市内や近隣の小・中・高等学校, 特別支援学校での教育支援活動(年間50時間以上)および一斉指導(5回)
- 履修年次: 全学年(選択)
 - 1年生111名; 2年生80名
3年生41名; 4年生18名
計250名
 - ボランティア39名
(単位不要)



ガイダンスおよび事前指導(1)

教育フィールド研究での取り組み

- 一斉指導:5回
 - 4月30日:ガイダンスおよび事前指導(1)(教育委員会, 学校関係者のガイダンス); **自己目標の設定**
 - 5月14日:事前指導(2)(特別支援, 教育心理の教員による指導)
 - 7月23日:情報交換会:グループ討議による情報交換, **自己目標に対する自己評価**
 - 9月30日:中間発表会:中間報告, 教職SVからの助言
 - 2月4日:最終発表会:グループ討議, 最終報告, 教育委員会および学校関係者からの講評, **最終レポート提出(電子ポートフォリオへの入力)**

チェックリストの自己評価とコメント (活動が50時間以上の1年生の例)

支援先	視点	チェック項目	自己評価	コメント
高等学校 (定時制)	学習指導	1-2-3 参観後に気づいたことや感想, 意見などを簡単に整理し, チェックリスト表等に記録するなどして事後に生かす。	A	活動後すぐにノートを書き, 次の活動に生かしていると思う。
	社会性・対人関係	3-1-7 実習先の教職員や実習生と意識的にコミュニケーションを図る。	B	実習生同士で意見を交換し, よりよい指導に向けて積極的にコミュニケーションができていると思う。
	教育的愛情・使命感・責任感	4-1-4 教育実践から学んだ事や課題解決の方策などを学生同士で話し合い, 自分たちなりに考えを深める。	B	クラスによって習熟度が異なるため, ほぼ毎回お互いのクラスの様子を話し合っている。

支援先および学生からの意見

- 支援先から
 - 前向きに取り組んでいる。真面目な学生多い。
 - ボランティアよりも実習に近い感覚で受け入れている。
 - 子どもとはどのような存在か掴んでもらいたいと思っている。互いに刺激し合える対象として学生を見ている。
- 学生から(チェックリストに関して)
 - 目標を見直すことで**自分の課題が見えてきた**ように思う。
 - これを記入してみて、**自分の現在の課題は積極的になれていないこと**だと思った。もっと積極的になり、担任の先生にわからないことは尋ねるなどしていきたい。

次年度以降関係する授業科目

2年次	3年次	4年次
教育フィールド研究 Ⅰ，Ⅱ（選択）	教育フィールド研究 Ⅰ，Ⅱ（選択）	教育フィールド研究 Ⅰ，Ⅱ（選択）
教育フィールド研究 Ⅲ（介護等体験） （ほぼ必修）	教育実習Ⅰ（主免） （ほぼ必修）	教育実習Ⅱ（副免） （選択）
へき地校体験実習 （選択）		へき地校体験実習 （選択）
専攻・グループで指 定する科目	専攻・グループで指 定する科目	専攻・グループで指 定する科目 教職実践演習

今後の課題

- 1年生に対する教職実践演習，電子ポートフォリオ，チェックリストの周知徹底
- チェックリスト項目入力率の向上（教職論：182名/273名，約70%）
- 手書きレポートのPDF化，アップロード
- 担任団，アカデミックアドバイザーの負担
- 教職実践演習の内容と指導体制